

おおとり会だより

総会でのお会いしましょう



同窓会おおとり会 会長

大石 邦枝

皆様、お健やかでいらつしやいますか？ 今年には暖冬でスキー場やスケート場が大変なようです。冬のスポーツが楽しめなくてがっかりしている方も多いことでしょう。

同窓会の二大イベントは総会の開催と秋の県大剣祭への参加です。原則として六月第一日曜日に開催の総会は、参加する人の負担がなるべく軽くなるよう、会費はそのほとんどを個人の飲食代分とし、他は同窓会会計でまかっています。

決まった会費収入のない本会ですが、うれしいことに、今のところ皆様からの寄付で大きな目減りもなく健全に運営されています。今年の総会は、「気軽にクラシックを楽しんでほしい」と活躍している稲木良光氏のコントラバスなど三重奏によるすばらしいコンサートを企画しました。

恩師の先生達も私達同様年を重ねています。会からもご案内をお送りしておりますが、それぞれの方々が声掛け下さり、ご一緒に参加してくださることを願っています。参加者が多くなると出席された恩師の先生との交流も厚く深くなり、楽しさもより大きくなることでしょう。県大生にもおなじみとなった剣祭でのバザー出店も、昨年は上着をそろえるなどして、皆大張り切りで楽しい一日を過ごしました。手作り品など、売上は約九万二千円になりました。手弁当の当番幹事の皆様には「楽しんだ」と言っていたいただき、ただただ感謝です。今回は是非買いに来て下さい。



大津山国夫先生
藤田純男先生
小田幸雄先生
中田 修先生
江崎幸子先生

懇親会にて

総会案内の返信欄にお寄せ下さった恩師の先生方のご近況を一部割愛して紹介させて頂きました。全ての先生方のお便りが載せられず申し訳ありません。

星猛元学長：静岡健康長寿財団の顧問をしております。まだ任期が一年残っており最後の奉公だと思っております。

河村房代先生：元気にしています。八十四歳になり、気をつけていても家の中で転んで圧迫骨折したりしますので、外出はなるべく慎重にしたいと思います。皆様によろしく。

桑原昂先生：息災で日々きげんよく時を刻んでいます。老化防止に励みながら充実した日々を過ごさせて頂いております。

畑光夫先生：二〇〇四年三月、常葉学園大学退職。五十年の Teaching Career を終了、自由の境地を楽しんでおります。

沼田俊昭先生：平成十年三月、二十七年間住んだ静岡を離れ郷里盛岡に戻りました。こちらでは、岩手県立大学の副学長、四月からは盛岡大学同短期大学の学長を務めています。

仲道弘先生：今年のおおとり会総会に併せて富士山に因む私の近況を二句記します。

学徒の日 敵機旋回 雪嶺富士
旅行かば 富士や燕の影うらら

立田洋司先生：普段はなるべくシンプル・ライフを心掛けており、山荘にて自然水、地物食材、住居のセルフ・ビルドなどのテーマに取り組んでいます。

ジャズダンス部

「ジャズダンス部」は、二度目の受賞ですが剣祭等の学内活動だけでなく、地域イベントへの参加や、福祉施設での交流など活動は相変らず活発です。



(剣祭のステージより)

学生ネットワーク「DREAM SEEDS」

私たち学生ネットワーク「DREAM SEEDS」は、学生主体のキャリア支援サークルです。学生自らが可能性を広げ夢の実現に近づくために、様々な企画を提供しています。現在8つの企画を運営し、学外を含め広く活動しています。



平成十八年度「おおとり会賞」は、左記の二団体が選出され、昨年四月二〇日に行われた開学記念行事において、西垣学長から表彰されました。

はばたき寄金

静岡県立大学連合学友会「はばたきの会」発足と 剣祭 20周年記念

静岡県立大学連合学友会 「はばたきの会」

二〇〇六年十月二十八日、剣祭開会式の際に、静岡県立大学創立二十周年を記念して、連合学友会「はばたきの会」(西垣 克会長) が設立されました。

会員は、静岡県立大学学部卒業・大学院修了者等により構成される学部同窓会(在籍したのも含む)、おおとり会、後援会等大学関連諸団体、及び在学生の学内団体等で構成されます。目的及び事業としては、静岡県立大学及び会員間の連携・支援・相互協力等を図ります。発足当日は、生葉・万葉講演会及び葉草園ツアー等が実施され、「短詩型における植物」関森勝夫教授、「葉草園を楽しむ」野口博司教授の講義に、久しぶりに青春時代の学生にタイムスリップして楽しむことが出来ました。

発足したばかりですが、今後、学友会機関誌の立ち上げ、会員に対する生涯メールアドレスの提供など検討されていくようです。

おおとり会としては、二十年前を最後に卒業生もなく、次第に同窓会が消滅していく運命かと、皆悲しく思っておりました。しかし県立大学代々の学長先生方の温かいご厚意、大きなお力を戴き、学友会の輪の中に入れていただくことになりました。

おおとり会も今後どのように参加し、活動に協力出来るかが課題と思われまます。まずは、おおとり会会員の皆様お一人お一人が多いに関心を寄せていただくことが大切なのではないのでしょうか。学友会についてのご意見をお寄せ頂けますようお願いしております。



「剣祭」の名称について

剣祭とは、県立大学キャンパスの近くにある草薙神社に奉納されている「草薙の剣」に由来して付けられた名称です。草薙の剣とは、歴代天皇が皇位の象徴として伝承した神社の三種の神器(八鏡、草薙剣、八坂曲玉)の一つであり、草薙神社に神剣として奉られたものです。しかし、「古事記」および「日本書紀」には、草薙の剣は熱田神宮に奉納されているとあり、草薙の剣の由来となる説話には様々なものがあり定かではありません。

昭和六十二年、大学祭が静岡女子大学と静岡県立大学との合同大学祭として行われた際、大学祭実行委員会が全学年から名称を募集し、委員会で多数決により決定したのが「剣祭」という名称です。主な決定理由は草薙の地と結びついてよいからというものでした。その後、検討期間を経て、第六回より「剣祭」として大学祭を開催していくことになりました。

第二十回剣祭 プログラムより抜粋

剣祭バザー収益金

平成十八年十月二十八日、恒例の剣祭が県立大学で行われました。今回も多数の方がバザー開催に御協力くださいました。心よりお礼申し上げます。

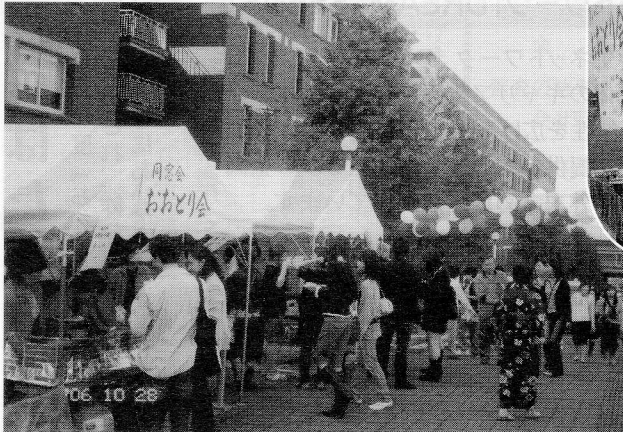
剣祭バザー収益金

九二、〇〇〇円

同窓会費に入れさせて頂きます。



⑮ おおとり会
(静岡女子短大・大学の同窓会)
* おごん
・手作りパン・手作り惣菜
・手作りクッキー
・手作り小袋・系揚げなど



「同級生の皆様、お久しぶりです」

被服学科 (大学八回卒)

多々良 尊子



年一回届く「おおとり会だより」を楽しみにしております。静岡を離れてから既に二十五年以上が経ち、先生方や同級生の皆様とお会いできる機会も限られています。今回、紙上で近況を報告させていただけることをありがたく思います。

被服学科を卒業して、桑原昂先生と仲道弘先生の研究室で二年間助手を勤めた後、大学院に進学して生活環境学を専攻しました。現在は、短期大学の教員をしています。主として生活系

「古本屋をやっています」

国文学科 (大学六回卒)

田村 直美

卒業してから一年の準備期間を経て、浜松で古本屋を開業しました。近くに浜松城公園や美術館、市役所があります。

夫婦二人でやっている小さな店ですが、間口は広く、いろいろな本を置いています。本好きなら、一日遊べる店です。

店をやっているおかげで、卒業してからも、大津山先生にお世話になったり、大勢の先生たちにお世話になっていきます。

学生の頃は、下宿にこもって昼夜逆転で本を読んだりして、卒業が大変だったので、店を始めた頃は「単位が足りない! 卒業できない!」という夢をよくみていましたが、今は

科目を担当していますが、「生活環境中の化学物質にかかわるリスクコミュニケーション」を研究テーマとしています。

社会活動として、県や市の環境審議会等の委員、環境系NPO法人の理事、環境教育ボランティアなどに取り組んでいます。その傍ら、昨年から大学院の工学研究科の社会人向けプログラムで環境リスク管理の勉強を始めました。

と言っても、なかなか自分の思い通りに進まないことばかりです。神戸に住んでいますので、震災も経験しましたし、両親の介護や家族の病気など様々な問題にも直面します。生活を最優先にすることを基本にしているため、遠回りも多いのですが、あらゆる経験が糧になるはずですが、これからの生活者の視点で発言していくこと、それを社会的貢献につなげることを目指して活動を続けたいと思っています。

「本が崩れる! つぶされる!」という夢をみるようになりました。「本は静かなお友だち」というけれど、ちょっと今、友だちが多すぎます。

古本屋っていいですよ。与謝野晶子の「みだれ髪」を初版本で読むなんて、贅沢ができます。和本を補修するのも楽しいです。虫食いを一つ一つ埋めていって、きれいなな

った時、とても充足感があります。またフリークなお客さんたちが来店し、退屈しない毎日です。

開店の頃の事は、「古本屋サバイバル」(編書房)に出てきます。機会があればお読みください。



みなさん お元気ですか

消費生活相談窓口をご利用ください!

食物学科 (大学一回卒)

望月 みつ子



私は、現在、静岡県中部県民生活センターという県の出先機関で、消費生活や就職、交通事故など県民のくらしや仕事に係る様々な相談やパスポートの発給など県民サービスを提供する行政に携わっています。

国際化や情報化が進み、技術革新や規制緩和に伴って私たちの生活は大変便利で豊かになりました。その反面、食品の偽装表示や架空請求・オレオレ詐欺、悪質な訪問販売、海外先物取引

みかんの はな

英文学科 (短大一回卒)

青木 則子

毎日のように報じられる凶悪な事件の背景と社会とは無関係ではないと思われれます。

現在私は、非行、犯罪を犯し、矯正施設から出所した人の社会復帰、更生を助ける仕事をさせて頂いております。シンナー乱用の少女は今、一児の母として、窃盗事件の青年は家業を継ぎ頑張っています。誘惑や偏見に負けない本人の強い意志はさることながら、周囲の方の支えがなによりうれしく思います。

彼等の一日も早い更生を願うのは当然ながら、でも私の心のどこかに常に被害者の事がありま

などによる消費者トラブルが増えるとともに、その内容が深刻化しています。

自分だけは騙されたいと思っていた消費者が、気がついたら騙されていたという例は珍しくありません。特に、一人暮らしの高齢者や生活経験の乏しい若者が被害者となるケースが増加しています。

偽装表示や悪質商法に騙されないよう、また巧妙なセールストークで近づいてくる悪質業者に狙われないためには、私たち消費者一人ひとりが商品やサービスを正しく見分ける確かな目を持つとともに、不必要なものは「きっぱり」と断る勇気が大切です。

私たち自らは勿論、家族や周囲の人々が騙されないよう、普段から声をかけ合って被害防止に努めるとともに、騙されたと思ったら最寄の消費生活相談窓口をご利用ください。

が、最近では自らの体験を勇気をもって語り始めました。涙ながら訴える遺族の怒り、悲しみを察する時、加害者の「保護」優先の処遇だけでよいのだろうかと思う事がたびたびあります。幸せな生活を一瞬にして失った被害者遺族の手記「みかんの はな」を読ませて頂き、その思いを強くしています。被害者の気持ちをどのようにして加害者の更生に活かしていくか、今その事にも取り組み始めました。

非行、犯罪を誘発する要因が家庭、学校、地域に関係している事から、図らずも犯罪を犯してしまい、罪を償って社会復帰した折には温かく受け入れ、又被害者にも配慮し、皆が共に生きられる地域社会の実現を願うひとりで



シニアのための IT教室

静岡県立大学大学院
経営情報学研究科卒

小林理加



私は静岡県立大学国際関係学部国際言語文化学科の二期生です。早いもので卒業から

十五年が経ってしまいました。卒業後地元で会社に就職しましたが、縁あって静岡県立大学大学院経営情報学研究科に進学し、現在は大学院時代に立ち上げた「パソコンわかばくらぶ」という団体を運営しています。

パソコンわかばくらぶは静岡市内を中心にシニアの情報教育支援を通して、仲間作りや互いに助け合う街づくりを目指して活動しています。おかげさまで活動も七年目を迎え、徐々に地域に根ざしてきました。現在では多くのパソコンボランティアの方に支えていただきながら活動をしています。

今後はシニアと情報教育を軸に活動の幅を広げていき、大学院で学んだことを少しでも地域に還元できるよう努力したいと思っています。



総会報告

平成十八年度、おとり会総会が、平成十八年六月十八日(日)、県立大学看護学部棟(一、三四一講義室)にて、九四名の参加を得て開かれました。

— 講演より —

静岡県立大学 学長

西垣 克先生

「富士山のユネスコ世界遺産登録」

富士山を世界文化遺産にという、各方面の動きの中で、お話を伺いました。知床や白神など日本各地で遺産登録(自然に認定されています)。

富士山も今回の運動の前段として十一年前に二四六万人の署名が海外を含めて集まりましたが、自然の多くが人間の手で破壊されていることで、見送られています。富士山に生息していた固有の動物も二十年前に絶えてしまっています。一度壊された自然をもどすには、壊れた年月の十倍の時間がかかっても修復できません。

富士山の自然をとりもどすべく取り組みも進んでいます。美しい景観を古来よりさまざまな人が愛して、絵画や文学などに多く残されています。山への多様な信仰も生まれています。

文化遺産登録への動きは、自然と文化との複合的景観になり得るとしてはたらかかけが行われています。

心にひびくお話を伺って、私たちも富士山への関心をよせ、何らかのはたらきかけが出せたらと思われました。

短大被服科 十一回卒
牧田 恭子



平成17年度 決算報告書

総収入 13,862,131円 支出 765,762円 残高 13,096,369円(繰越金)

自平成17年4月1日
至平成18年3月31日

収入の部		支出の部		備考
費目	決算額円	費目	決算額円	
受け取り利息	101,821	事業費	132,646	総会 110,776 剣祭 21,870
基金入金	179,100	会議費	83,144	役員会・理事会・当番幹事会・編集会議
剣祭余剰金	81,750	印刷費	166,680	おとり会だより・総会案内状・その他コピー代
総会余剰金	60,790	通信費	378,170	案内発送 4,300×80
雑収入	24,200	慶弔費	0	
		事務・雑貨品費	5,122	
		予備費	0	
小計	447,661	小計	765,762	
前年度より繰越	13,414,470	次年度へ繰越	13,096,369	定額貯金・通常貯金・公社債・書籍・現金
総計	13,862,131	総計	13,862,131	

上記の通りご報告致します。

平成18年3月31日

会長/大石邦枝 会計/大石紀子・近藤和恵

監査の結果、相違なく適正と認めます。

平成18年4月15日

会計監査/浜尾朋子・金山真理子

平成18年度 予算

自平成18年4月1日
至平成19年3月31日

収入の部		支出の部		備考
費目	18年度予算	費目	18年度予算	
受け取り利息	30,000	事業費	200,000	総会・剣祭
雑収入	330,000	会議費	80,000	当番幹事会・理事会・会報編集会議
		印刷費	200,000	会報・総会案内状・会議用資料
		通信費	400,000	会報・総会案内状の送付・会議の通知
		慶弔費	50,000	
		事務・雑貨品等	20,000	
		予備費	50,000	
前年度より繰越	13,096,369	郵貯・公社債等	12,456,369	
総計	13,456,369	総計	13,456,369	

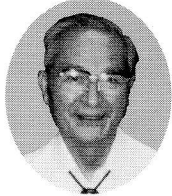
*他費目への流用を認める

計報

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

元 県立大学初代学長

内 園 耕 二 氏



平成十八年十月二十五日、九十歳で御逝去されました。県立女子大学の第七代学長に就任

その後、静岡薬科大、静岡女子大、静岡女子短大の県立三大学の総合に尽力され、昭和六十二年、改組した県立大学の初代学長に就任され、同大の礎を築

されました。

学長在任中、中国浙江省の杭州大(現浙江大)など、海外三大学と友好交流協定を締結し、大学間の学術交流を推進されました。

太田京子先生

八十五歳で御逝去されました。

編集委員

原都子・森恵美
佐藤容子・石田加苗